新川地域における鳥獣害痕跡事例集

令和7年3月



富山県新川農林振興センター企画振興課

【はじめに】

適切な鳥獣害対策を実践するには、加害鳥獣を正しく同定することが重要です。加害鳥獣によって対策方法が 異なるため、その同定を誤ると、せっかくお金や労力をかけたのに被害が全く減らないことになります。

加害鳥獣の同定には、食害痕、足跡、糞等の確認が必要です。また、センサーカメラを活用すると、確実に加害鳥獣や侵入経路を特定することができます(センサーカメラは、お住まいの市町の鳥獣関係部署で借りられる場合あり)。今回は、実際に新川地域で見られた鳥獣害痕跡事例をまとめましたので、今後の鳥獣害対策の実践にご活用ください。

【目次】

1	イノシシ	.P1~14
2	ニホンザル	.P14~19
3	ニホンジカ	.P20~21
4	ハクビシン	.P21~22
5	タヌキ	.P22~24
6	クマ	. P24~25
7	カラス	.P25~27
8	ヒヨドリ	.P27~28
a	メジロ	D20

1 イノシシ



ぬたうち



踏み倒し



稲穂の食害①

【水稲被害】

- ・稲穂を食害
- ・食害以外にぬたうちや踏み倒しにより、 被害が大きくなる
- ・イノシシの侵入した圃場は、稲株が泥で 汚れている
- ・圃場内に足跡が残りやすい
- ・乳熟期頃から被害が増えるため、その時期に合わせて柵の点検をした方が良い



稲穂の食害②



圃場内に侵入したイノシシ



踏み倒し (写真の右半分全て)

【そば被害】

・踏み倒しや根の食害、圃場の掘り起こし



踏み倒しおよび掘り起こし②



根の食害



食害①

【じゃがいも被害】

- ・マルチを裂き、地中の塊茎を掘り起こして食害
- ・マルチに足跡が残る場合がある



食害②



食害③ (赤丸が食害された塊茎)



食害 (生育初期)

【さつまいも被害】

- ・マルチを裂き、根や塊根を掘り起こして 食害
- ・マルチに足跡が残る場合がある



立ち上がって袋を咥えるイノシシ



食害



食害(袋が土で汚れている)

【ぶどう被害】

- ・立ち上がって、袋を地面に落とし、食害
- ・袋は、土が付着し汚れていることが多い
- ・果実は残さずに食べきることが多い (ニホンザルやカラスは果実を多く残 すので、識別しやすい)

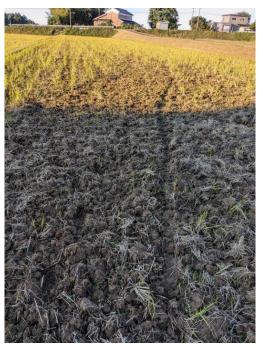


- ・ 圃場の掘り起こしにより、根が傷むため、生育不良になる場合がある
- ・圃場に凹凸ができるため、農業機械が跳 ね、農作業事故のリスクが高まる

圃場の掘り起こし



ヒコバエを食べるイノシシ



摂食痕① (掘り起こされている部分全て)

【ヒコバエ被害】

- ・人間にとって被害という意識は少ない が、ヒコバエで水稲の味を覚えるため、 次年度の水稲被害を誘発
- ・ヒコバエで栄養を蓄え、越冬成功率が上 がり、次年度の個体数増加に繋がる
- ・秋耕でヒコバエを鋤き込み、食べさせないことが重要



摂食痕②



イノシシに掘り起こされた畦畔①



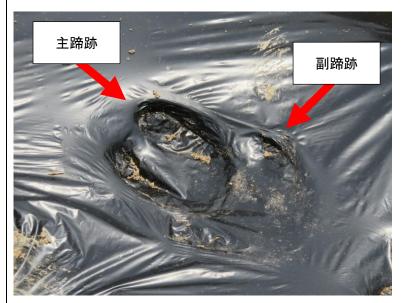
イノシシに掘り起こされた畦畔②

【畦畔被害】

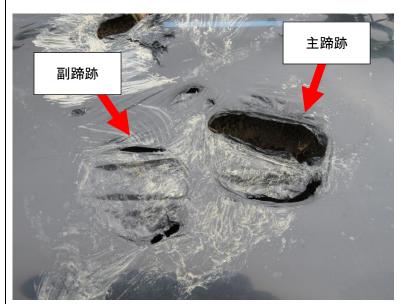
- ・雪解けが早いと、2月頃から被害が発生 し始めることがある



水田に残った足跡



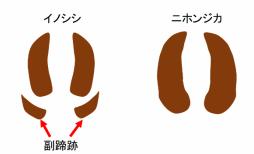
マルチの上に残った足跡①



マルチの上に残った足跡②

【足跡】

- ニホンジカやカモシカの足跡と似る
- ・泥のような柔らかいところを歩いた場合、特徴的な副蹄跡が残る (ニホンジカやカモシカの足跡には副 蹄痕は残らないので識別できる)





・イノシシには、4つの蹄がある



【糞】

・塊状の糞をする





糞③



電気柵下段を潜って侵入(下段の位置が高すぎる)



イノシシの侵入により土が付着した電線

【電気柵侵入痕】

電気柵の設置方法が不適切だと、電気柵 を警戒しなくなり、以下のような侵入痕が 残ることがある。定期的な点検を行い、補 修や電気柵の張り直しを行う。

①電気柵を潜って侵入

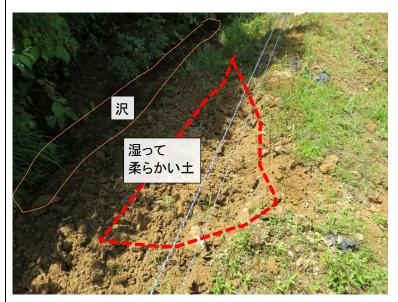
- ・電気柵下段が、地面から 20cm の位置より高いと潜る
- ・電線に土が付着していることが多い



電気柵に突進して侵入するイノシシ



イノシシの侵入により倒れた電気柵の支柱



電気柵下の掘り起こし

②そのまま突き破って侵入

- ・漏電して電圧が低くなっていたり、藪と 電気柵の間隔が狭い場合に起こりやす い
- ・支柱が傾いたり、折れる場合がある
- ・電線が緩くなったり、外れる場合がある



裾部の固定が不十分なネット柵



噛み切られ侵入されているネット柵(後方に獣道もある)



土が付着しているネット柵

【ネット柵侵入痕】

- ①裾部からの侵入
- ・ネット柵の裾部の固定が甘いところを 潜って侵入する
- ・侵入箇所は土が付着していることが多い
- ・ペグやパイプ等で裾部の固定が必要 (0.5m間隔推奨)

②噛み切って侵入

- ・侵入箇所は土が付着していることが多い
- ・農作物の味を覚えた後だと、ステンレス 線入りのネット柵でも噛み切られるこ とがある
- ・噛み切りが発生する場合は、他の柵に変更も検討する必要



恒久柵裾部の押し上げ



恒久柵裾部の掘り起こし



恒久柵裾部を掘り起こして侵入しようとするイノシシ

【恒久柵侵入痕】

イノシシは以下のように恒久柵の裾部 から侵入するため、予め柵裾部に補強資材 を設置しておく。定期的な点検を行い、侵 入の痕跡があればすぐに補修する。

- ①柵裾部を押し上げて侵入
- ②柵裾部の地面を掘り起こして侵入
- ・土が軟らかい場所や柵が斜面に近い場 所、傾斜部等は掘り起こされやすい
- ・イノシシは、常に恒久柵周辺の掘り起こ して侵入しやすい場所を探している



【その他】

・イノシシは、木に体を擦りつけるため、 木の根元付近に泥が付着する



水稲圃場に侵入するニホンザル



苗被害

【水稲被害】

- ・穂を口の中に入れ、千歯扱きのように稲 穂を外し、食害する
- ・イノシシのように目立つ侵入痕が残ら ないため、被害に気づきにくい
- ハウス内の苗を加害することもある
- ・必ず日中に加害



【さつまいも被害】

- ・塊根を好んで食害する。葉も食害する
- ・定植直後から苗を引き抜く被害が発生するため、定植前に柵を設置しておく
- ・食べる目的ではなく、イタズラで定植苗 を加害することもある
- ・必ず日中に加害

苗の引き抜き



【ぶどう被害】

- ・袋を落として、食害
- ・食べたい部分のみ食害するため、残りの 果実は放置することが多い

(イノシシはほとんど残さず食べる)

- ・イノシシの被害果と比較すると、袋が土 で汚れていることは少ない
- ・群れで食害した後は、圃場内に袋が散乱 している
- ・必ず日中に加害

食害



食害①

【もも被害】

- ・樹から果実をもいで食害
- ・群れで食害した後は、圃場内に被害果が 散乱している
- ・必ず日中に加害



食害②



食害するニホンザル①



食害するニホンザル②

【りんご被害】

- ・樹から果実をもいで食害
- ・群れで食害した後は、圃場内に被害果が 散乱している
- ・必ず日中に加害



食害①



食害②



食害

【かき被害】

- ・樹から果実をもいで加害
- ・群れで食害した後は、圃場内に被害果が 散乱している
- ・誘引物となるため、樹の伐採や早めの収 穫を実施



食害されて散乱したかき



ヒコバエおよび落ち穂を食べるニホンザル

【ヒコバエ被害】

- ・人間にとって被害という意識は少ない が、ヒコバエで水稲の味を覚えるため、 次年度の水稲被害を誘発
- ・ヒコバエで栄養を蓄え、越冬成功率が上 がり、次年度の個体数増加に繋がる
- ・秋耕でヒコバエを食べさせないことが 重要



足跡①

【足跡】

・サルの足跡は、形が特徴的で、大きさも 大きいため、識別しやすい



足跡②



ネットを潜って圃場に侵入するニホンザル



ニホンザル侵入箇所 (ペグの打ち忘れ)

【ネット柵侵入痕】

- ・ネット柵の裾部の固定が甘いところを 潜って侵入する
- ・イノシシと異なり、土が付着することは 少ないと考えられる
- ・ペグやパイプ等で裾部の固定が必要 (0.5m間隔推奨)

3 ニホンジカ



ヒコバエを食べるニホンジカ

【ヒコバエ被害】

- ・人間にとって被害という意識は少ない が、ヒコバエで水稲の味を覚えるため、 次年度の水稲被害を誘発
- ・ヒコバエで栄養を蓄え、越冬成功率が上 がり、次年度の個体数増加に繋がる
- ・秋耕でヒコバエを食べさせないことが 重要



【糞】

・俵状のコロコロした糞をする



恒久柵を跳び越えて集落内に侵入するニホンジカ

【恒久柵侵入痕】

- 柵を跳び越え、柵上部を破損させることがある
- ・ニホンジカの侵入を防ぐには、少なくと も高さ 1.5m 以上の柵が必要
- ・柵のすぐ後ろが斜面になっており、柵の 高さが実質 1.5m に満たない場所は跳び 越えられやすい



恒久柵上部の破損

4 ハクビシン



【ぶどう被害】

- ・木に登り、ぶら下がって食害
- ・果皮が、房や地面に残る特徴的な被害 (人間が食べたように果皮が残る)
- ・被害果は、樹についたままのことが多い (イノシシやニホンザルは、被害果を地 面に落とす)
- ・まだ完熟していない酸味のある果実を 好んで加害

食害



電気柵を潜って侵入するハクビシン

【電気柵侵入痕】

- ・イノシシ用の地面から 20、40cm の 2 段 張りの電気柵は効果が無い (目立つ痕跡は残らない)
- ・ハクビシン対策をしたい圃場では、亀甲 金網あるいはネット柵と電気柵の複合 柵等(例:かたまったくん)を検討



恒久柵裾部の隙間から侵入するハクビシン

【恒久柵侵入痕】

- ・他の動物が掘り起こした穴や隙間から 侵入する(目立つ痕跡は残らない)
- ・定期的な点検で穴等すぐに補修する
- ・ハクビシンは登って侵入することも得 意なので、電気柵との組み合わせが必要
- ・ワイヤーメッシュ柵の目合いは、7.5cm ×7.5cm以内にする

5 タヌキ



【もも被害】

- ・食害痕は、ハクビシンに似るが、やや幅広
- ・樹形によっては、樹を登って果実を加害することがある

食害



収穫残渣を運ぶタヌキ

【りんご被害】

・圃場内に放置された収穫残渣や他の鳥 獣が落とした果実を食べる



足跡

【足跡】

- ・タヌキの前足は5本指、後ろ足は4本指 だが、足跡はどちらも4本指が残る
- ・犬猫の足跡に似るが、タヌキの足跡は爪 痕が残ることがある
- ・ハクビシンやアナグマは、5本指の足跡 が残るので、識別できる







ため糞

【糞】

- ・「ため糞」という習性があり、同じ場所 で脱糞を繰り返す
- ・古い糞と新しい糞が混じる



電気柵を潜って山に帰るタヌキ

【電気柵侵入痕】

- ・イノシシ用の地面から 20、40cm の 2 段 張りの電気柵は効果が無い (目立つ痕跡は残らない)
- ・タヌキ対策をしたい圃場では、亀甲金網 あるいはネット柵と電気柵の複合柵等 (例:かたまったくん)を検討



恒久柵裾部の掘り起こし穴から侵入するタヌキ

【恒久柵侵入痕】

- ・他の動物が掘り起こした穴や隙間から 侵入する(目立つ痕跡は残らない)
- ・定期的な点検で穴等すぐに補修する
- ・ワイヤーメッシュ柵の目合いは、5 cm $\times 5 cm$ 以内が望ましい

6 クマ



【かき被害】

- ・枝の折損や樹皮に爪痕があれば、クマの 可能性が高い
- ・誘引物となるため、樹の伐採や早めの収 穫を実施

食害



【糞】

- ・食べるものによって外観は大きく異なる
- ・秋頃に集落付近に出没するクマの糞は、 かきや銀杏の種が噛まれずそのまま含 まれることが多い

糞

【恒久柵侵入痕】



恒久柵上部の破損

- ・クマは柵を登って侵入するため、体重に より柵上部が破損する
- ・クマの侵入を防ぎたい場合は、恒久柵の 上に電気柵が必要

7 カラス(ハシブト、ハシボソ)



食害①



食害②

【丸いも被害】

- ・屋外で乾燥中の丸いもを加害
- ・嘴によりV字型の食害痕



りんごを食害するカラス



食害①



食害②

【りんご被害】

- ・嘴によりV字型の食害痕
- ・V 字型の食害痕が残っていない場合は、 他の鳥種との識別は難しい
- ・枝に掴まって上から加害するため、果実 上部に食害痕が残ることが多い





果実を突くカラス(左)と果実を咥えて飛び立つカラス(右)

【ぶどう被害】

- ・ぶどう棚に掴まり、袋を破いて食害
- ・数粒を食害して、大半は食べ残す

8 ヒヨドリ



りんご園に飛来したヒヨドリ



りんごを食害するヒヨドリ

【りんご被害】

- ・嘴による小さな食害痕が複数残る
- ・圃場近くにある大きな木等から様子 を伺い、食害しに圃場に侵入し、その 往来を繰り返す
- ・木の実(液果)が不足すると、農作物 被害が発生しやすい



収穫残渣を食害するヒヨドリ



食害①



食害②

9 メジロ



メジロと被害果



食害するメジロ①



食害するメジロ②

【りんご被害】

・自身で果実に穴を空けることはほとん ど無く、既に他の鳥類等が加害した果 実を食害する

【謝辞】

本紙の作成にあたり、ご協力いただいた魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町、黒部ファーストペンギン プロジェクトの皆様に感謝申し上げます。